

所在するURL情報と、コンテンツ利用の対価に関する課金情報と、コンテンツ利用の制御に関する属性情報と、コンテンツを識別するためのユニークIDとが含まれている。

データ形式の望ましい一例としては、例えば、サンプル・データはJPEG形式の画像であって解像度が72dpi以上、コンテンツ本体のデータ（ここでは画像）は前記のURLで指定される場所に存在する画像といった形式である。

（コンテンツ実施例3）

請求の範囲15に記載のコンテンツのデータ構造は、その一例としては第11図に見られるものであり、コンテンツのサンプル・データと、コンテンツ本体のネットワーク上における所在を識別するコンテンツ所在IDと、コンテンツ利用の対価に関する課金情報と、コンテンツ利用の制御に関する属性情報と、コンテンツを識別するためのユニークIDとが含まれている。

データ形式の望ましい一例としては、例えば、サンプル・データはJPEG形式の画像であって解像度が72dpi以上、コンテンツ本体のデータ（ここでは画像）は前記のコンテンツ所在IDで指定される場所に存在する画像といった形式である。コンテンツ所在IDは、データベース・サーバーなどの記憶装置においてデータベースによるデータ管理がなされ、コンテンツごとに付与されるIDと、コンテンツが所在するURLやLANなどのネットワーク上での所在場所を特定するデータとが、関連付けられて記憶される。コンテンツ所在IDをキーに上記のデータベースを参照して、コンテンツ本体の所在を特定する。

請求の範囲13～15に記載のいずれのコンテンツにおいても、前記のコンテンツが備える課金情報には、下記のデータの内の一又は複数を含むことができる。

コンテンツのサイズ、有効期限、解像度、出力方法、その他の条件などである。また、コンテンツ利用の制御に関する属性情報は、コンテンツの利用者を例えば会員限定などに限定するための属性情報や、コンテンツの流通又は利用を制御するための属性情報などである。

上記のコンテンツには、画像データや、動画像データ、アニメーション画像、音声データ、文字データ、コンピュータ・ゲーム・ソフトウェア、コンピュータ・プログラム、これらの組み合わせなどの様々な形態が含まれる。

次に、本発明の自動編集システムの処理の流れを、望ましい実施形態の一例に基づき説明する。

ここでは、コンテンツとして画像データを用いて、コンテンツサーバに設けられるイメージデータベースに記憶された画像コンテンツをもとに自動編集を行う処理の一例について説明する。

なお、ここに示す処理の流れは一例であって、これに限定されるものではない。第3図～5は、本発明の自動編集システムの基本的な処理の流れを示すフローチャートである。

初めに、第3図において、利用者端末に備えられる自動編集システムのアプリケーション・プログラムを起動する。

利用者端末から、ユーザーが初めにアクセスするWEBサイトなどは、通常、コンテンツ及びレイアウト情報の提供などのサービスを行い、本発明のシステムの利用に対する課金を行うものであり、コンテンツを利用して自動編集した印刷物等の出力をしたいユーザーが、ネットワークに接続されたユーザーの端末に備えられるブラウザにおいてURLを入力するなどして本発明のシステムのコンテンツサーバにアクセスする。

ここで、ユーザーの端末には、パーソナルコンピュータなどのコンピュータ端末のほか、ブラウジング機能を備える携帯電話などの携帯情報端末や、専用端末、あるいはWEB-TVやゲーム機器などの情報家電製品、その他の各種端末を含む。

次に、利用者端末において、ページデータのレイアウトを選択して指定する処理を行う。

前記のように、通常の実施形態としては、コンテンツサーバ又は、コンテンツを記憶するコンテンツサーバとは別個に設けられるレイアウト情報を記憶するレイアウト情報サーバにおいて、レイアウト情報が記憶されているレイアウト情報データベースが備えられる。

レイアウト情報は、自動編集がされて出力されるページデータの、出力サイズ、用紙等の向き、用紙の余白、画像などのコンテンツや文章などのテキスト、その他のコンテンツを配置する配置場所及びそのサイズ、文章の改行や段落、行間や

文字間の指定、フォント種類やフォントサイズ、文字装飾、その他のレイアウトを設定したテンプレート又は設定情報である。

第3図においては、初めに、ダイレクトメール、挨拶状、案内状などのテンプレートを選択し、続いて、そこに配置される文字の書体やサイズ、文章の改行や段落、行間や文字間の指定、文字装飾、その他のレイアウトを設定した設定情報を選択して指定する処理の流れを示している。

またここで、コンテンツサーバから、利用者端末における操作により、背景(壁紙やバックグラウンド)となる画像などのコンテンツを選択する流れの例を示している。ただし背景などのコンテンツも、後述する自動編集処理により、自動的に選択して出力するためにデータの取得をすることができ。例えば季節に応じた背景画像を自動的に選択してレイアウト中に配置するなどの処理である。

レイアウト情報は、利用者端末が備える自動編集システムのアプリケーション・プログラムがデータを取得することによりレイアウトが設定される。

設定されたレイアウトは、レイアウトを選択してレイアウト情報を取得する際のプロビュー画面において閲覧できるようにすることが望ましい。

また、第4図に見られるように、自動編集システムのアプリケーション・プログラムがレイアウト情報を取得することにより、編集のための設定や操作を行ったり、印刷出力のプロビュー画面などで利用者端末の表示手段に表示させて確認することができる。

なお、本発明のシステムの利用を提供するWEBサイト等においては、コンテンツ利用のためのサービスを受けるユーザに対し、会員情報を登録し、会員登録をするようにすることが望ましい。会員情報としては、住所、氏名、電話番号、電子メールアドレス、課金(決済)方法、その他の情報があげられる。

このような会員情報の登録、管理により、後述する認証・コンテンツ課金のための認証キーを発行する。

なお認証キーは、オンライン上で発行する形態では、前記のポータルサイトにおいてユーザが会員情報の入力等を行い、送信し、送信された情報がコマースサーバに格納され、この情報の審査等を経た上で発行することが望ましい。

認証については後述する。

またレイアウト情報を選択して利用する際に、コンテンツサーバに接続するためにコンテンツの提供を行うWEBサイト等にアクセスし、出力するページデータの種類やサイズなど、例えばダイレクトメール、チラシ広告、ハガキ、カタログなどの所望のジャンル、内容、種類等により、レイアウト情報の検索・抽出を行えるようにしてもよい。

また前記の通り、コンテンツを配置するための様々なレイアウトは、利用者端末の自動編集システムにおいてレイアウト情報を備えておくこともよい。また、レイアウト情報をコンテンツサーバからダウンロードを行い、利用者端末の自動編集システムにおいてレイアウト情報を備えておく形態をとってもよい。

次に、ここで、本発明のシステムにおいては、利用者コンピュータシステムに備えられる前記のデータベースシステムには、前記のページデータを複数出力する際に、自動編集されるページデータの内の可変部分にいずれのコンテンツを配置するかに関連付けを設定するための出力設定データが記憶されている。

データベースシステムは、一例をあげれば、ダイレクトメールや案内状、ハガキなどの出力されたページデータによる印刷物等を送付するための、顧客リスト、見込み顧客リスト、各種名簿リストや、これらのデータベースと連携してマーケティングデータ分析・データ活用などを行うためのマーケティングデータ、あるいはダイレクトメール等でメッセージを伝達するための商品情報、サービス情報、各種の定型文面、送付先相手ごとの挨拶文面、その他の様々なデータを記憶するものである。ここではダイレクトメールの例をあげ、マーケティングデータの例をあげたが、これらに限定されるものではなく、自動編集されるページデータの内の可変部分にいずれのコンテンツを配置するかに関連付けを設定するための出力設定データであれば様々なデータが含まれる。

データベースは、単一のデータベースであってもよく、単一のテーブルにデータを記憶する形態や、複数のテーブルにデータを記憶して、関係データベースなどにより様々なデータの組合せ、条件の組合せによるデータの抽出等が可能な形態であってもよい。また複数のデータベースを連携させて用いるものであってもよい。

これらのデータに基づき、利用者端末においては、自動編集されるページデー

タの内の可変部分にいずれのコンテンツを配置するか、前記の関連付けに従い、利用者端末から、前記のコンテンツデータベースにアクセスし、一又は複数の所望のコンテンツを自動的に選択して利用者端末において出力を行うために取得する処理を行う。

自動編集されるページデータの内の可変部分の選択は、第4図の画面イメージにあるように、レイアウト中の所定の部分を利用者端末において選択する。可変部分は単一箇所であっても複数箇所であってもよい。

ここにおいては、可変部分には、出力されるページデータの1枚ごとに、ページデータを送付等する相手先に応じた画像などのコンテンツを配置する処理について説明する。第5図においては、データベースシステムから必要なデータを抽出し、分析することによりコンテンツを自動的に選択してデータを取得する処理の流れを示しているが、より詳細には下記のような処理を行う。

あるいは、可変部分には、前記のデータベースシステムまたはデータベースシステムに記憶されるデータに関連付けられて記憶されている文面などのテキストデータ、その他のデータを用いることもできる。

次に、可変部分の選択処理、及び、前記のデータベースシステムに基づきコンテンツサーバからコンテンツを自動的に選択し、データを取得して、自動編集されたページデータを出力する処理についてより具体的に説明する。

第6図～第8図は、一例として、三折りのダイレクトメールをレイアウト編集する例の処理の流れを示すシステム概念図である。

可変部分の設定の一例を、第6図を用いて説明する。

例えば、第6図においては、一例として、三折りのダイレクトメールをレイアウト編集する例をあげているが、この内送付分の枚数を印刷する場合に、すべての送付左記に送るダイレクトメールに同じコンテンツをレイアウト配置する不変部分と、送付先によってコンテンツを差し替える可変部分とを設定する。

次に、第5図において、コンテンツサーバとの関連付けを行うが、これは例えば、ページデータ中に一又は複数の可変部分がある場合に、例えば可変部分AからDまでがあるとして可変部分Aにはコンテンツサーバaの画像データベースaのコンテンツを利用する、可変部分Bにはコンテンツサーバaの画像データベースa bのコンテンツを利用する、可変部分Cにはコンテンツサーバbの画像

データベースbのコンテンツを利用する、といった関連付けの設定である。

あるいはいずれのコンテンツサーバのデータを用いるかを指定せずに、コンテンツのデータに含まれるキーワードなどを指定して、可変部分Aにはキーワード「○○」の画像コンテンツを利用する、可変部分Bにはキーワード「○○」かつキーワード「○○○」の画像コンテンツを利用する、といった関連付けの設定をすることもできる。

次に、出力されるページデータの1枚ごとに、ページデータを送付等する相手先に応じた画像などのコンテンツを配置する処理について説明する。

第5図においては、データベースシステムから必要なデータを抽出し、分析することによりコンテンツを自動的に選択してデータを取得する処理の流れを示しているが、より詳細には下記のような処理を行う。

データベースシステムに記憶されているデータには、例えば請求の範囲5に記載の発明においては、自動編集され出力されるページデータを提供する複数の対象者に関するデータ、及び、個々の対象者ごとにページデータを自動編集するたにコンテンツとの関連付けを行うための設定データが含まれている。

また、請求の範囲6に記載の発明においては、利用者端末に接続して備えられる前記のデータベースシステムに記憶されているデータは、広告、ダイレクトメール、会社案内、カタログ、その他のページデータを対象者ごとに出力するためのマーケティングデータを含むデータであることを特徴とする。

一例として、自動車のダイレクトメールをレイアウト編集する例をもとに説明する。

前記の利用者コンピュータシステムに備えられるデータベースには、顧客の氏名、自動車車種、購入年度、販売会社の担当者などのデータが記憶されている。

個々の対象者ごとにページデータを自動編集するためにコンテンツとの関連付けを行うための設定データは、第8図においては、顧客の保有する現車種の別に応じて、ダイレクトメールで商品紹介をして購入を薦める新車種との関連付けが定義され記憶されているデータである。現車種と、同等又はワントランク上の新車種、との関連付けデータである。

多数の顧客データがデータベースシステムに記憶されている場合に、それぞれ

の顧客に送付するダイレクトメーメルを自動編集・出力するために、顧客の現車種に応じて、可変部分に関連付けられた新車種のコンテンツを自動的に選択して挿入するために、自動編集・出力時に参照するための関連付けデータである。

またこれは一例であって、年収や職業、家族構成、その他のデータなどにより定義を行うこともできる。

例えばデータベースにおいて、「担当営業Aから1995年に車を購入したユーザーの一覧」のように条件を与え、データを抽出する。

また、条件ごとに、可変部分に配置するコンテンツを、前記のコンテンツサーバから自動的に検索・抽出して選択する。

前記のレイアウトデータに従いページデータを生成して複数出力する処理において、自動編集されるページデータに含まれる可変部分に配置されるコンテンツは、前記の関連付けに従い、複数の出力のそれぞれの出力ごとにいずれかのコンテンツを自動的に選択して挿入し、出力がされる処理を行うことを特徴とする。
(自動編集システム実施例1)

ポータルサイトから、ユーザが画像などの、コンテンツサーバのコンテンツを利用する場合に、ページデータを自動編集し、プリントなどの出力が行われる時点での課金を行う処理の流れについて説明する。

前記の通り、コンテンツを利用したいユーザは、ネットワークに接続されたユーザの端末に備えられるブラウザにおいてURLを入力するなどして、ポータルサイトに接続する。

コンテンツは、コンテンツサーバに格納されており、ユーザのコンテンツ選択等の行為により、ポータルサイトなどからコマースサーバが処理要求を受け付ける。

以下、ページデータのレイアウトを指定する処理と、自動編集されるページデータの内の可変部分にいずれのコンテンツを配置するか、前記の関連付けに従い、利用者端末から、前記のコンテンツデータベースにアクセスし、一又は複数の所望のコンテンツを自動的に選択して出力するためにデータの取得を行う処理と、前記のレイアウトデータに従いページデータを生成して複数出力する処理において、可変部分にコンテンツを自動的に選択して挿入し、自動編集出力がさ

れる処理とは、前述の処理と共通するため省略する。

自動選択されたコンテンツを、請求の範囲7～9に記載の発明においてはコンテンツの備えるユニークIDから、どのコンテンツをどれだけ（枚数、データ量など）出力したかを示すデータは、コンテンツサーバからコマースサーバへ処理結果を送る。

コンテンツごとの課金情報（課金のためのルール）は、コマースサーバにおいて、画像などのコンテンツのサイズ別、解像度別、有効期限別、等による設定を予め行い、コマースサーバ（課金サーバ）がユーザ別、コンテンツID別にその情報を管理する。

コンテンツごとの課金情報は、例えば以下のような分類・属性・利用方法等による課金ポイントである。

コンテンツ別、コンテンツサイズ別、コンテンツ出力サイズ別（A0、A1、A2、A3、A4、・・・）、解像度別、有効期限別、プリント出力先別、会員別、ライセンス契約内容別、従量制別、その他の分類・属性・利用方法等による課金ポイントである。

またコマースサーバにおいては、コンテンツの登録情報を管理する。コンテンツの登録情報は、コンテンツの所在や、そのジャンル、データ形式、コンテンツ作成者や所有者、課金された金額の支払先、その他の情報を、コンテンツIDと関連付けておく情報であり、コマースサーバに記憶される。

次に、請求の範囲7に記載のコンテンツ課金システムについて説明する。

本実施形態においては、コンピュータ・ネットワーク上において、画像などのコンテンツを格納するためのコンテンツサーバと、ユーザがコンテンツを利用し購入するためにアクセスするためのポータルWEBサーバと、ユーザに関する情報やユーザのコンテンツ利用・購入に関する情報を管理するためのコマースサーバとを備え、前記コンテンツには、コンテンツのサンプル・データと、コンテンツ本体のデータと、コンテンツ利用の対価に関する課金情報と、コンテンツ利用の制御に関する属性情報と、コンテンツを識別するためのユニークIDとが含まれている。

ユーザがユーザの端末において前記のコンテンツを表示させる処理と、ユーザ

に対する課金やコンテンツ利用の制御のための認証キーを、ユーザがコンテンツをダウンロードする際にセットする処理と、前記システムにアクセスするユーザの認証を前記の認証キーを用いて行う処理と、認証されたユーザが指定し送信したコンテンツの利用要求情報に対し、前記のコンテンツをユーザ端末に送信し、前記のコンテンツを含む属性情報をユーザ端末において検知する処理と、前記の利用要求情報に基づく課金処理が認証されてコンテンツを出力する場合には、利用要求情報に基づきコンテンツのデコードを行い、コンテンツの出力がされる処理とにより出力時課金を行う。

ユーザに対する課金の認証は、ハードウェアによる認証キー（例えば、USBキーなど）で行うことが望ましい。すなわち認証を行うための情報をUSBキーなどのハードウェアに記憶させておくことによって、課金処理を行う際にユーザの端末にセットする。

ユーザに対する課金やコンテンツ利用の制御のための認証キーを、ユーザがコンテンツを利用する際に前記の認証キーをセットする。

認証キー（USBキー等）には、ユーザを識別するためのIDが設定されている。さらに認証キーには、ユーザが課金処理の際に利用する金銭又は金銭に類似する利用可能なポイントの度数が設定されている。

また、コンテンツの利用者を限定したり、流通や利用を制御するための属性情報が設定される。

第12図は、認証キーの一例として、USBキーを用いた場合の、USBのICチップにセットされる情報を示す図である。

ユニークID、個人情報、課金情報、属性情報、ログ情報、出力情報などの情報がセットされる。

その他認証キーには、パスワード、1回限りのワンタイム・パスワード、公開鍵と秘密鍵を用いる方式、その他の様々な認証方式によるユーザ認証のための情報を備えることができる。

ユーザは、コンテンツ課金システムを使うとき、課金を行うための金額等を算出するためのポイントを使用するが、前記の通り、画像などのコンテンツのサイズ、解像度、期限、等でポイントはそれぞれのコンテンツごとに設定されている。

認証キーに記憶されている前記のユーザID、及びユーザIDに関連付けられて記憶される前記の金銭又は金銭に類似する利用可能なポイントの度数などの情報は、コマースサーバ（課金サーバ）がユーザ別にその情報を管理することができ、この場合には両者を照合することにより、ユーザの認証やユーザごとの課金情報の管理を行うことができる。

次に、コマースサーバ（認証サーバ）が認証を行い、認証の結果、コンテンツの出力・利用などについて許可するか否かを判定し、その処理結果をコマースサーバからポータルサイトを管理するWEBサーバに返信し、認証の可否の結果を表示するHTMLファイル等をユーザ端末に送信する。すなわちユーザ端末の画面に認証結果が表示される。

また認証による許可があった場合には、コマースサーバからコンテンツサーバに対し、ユーザ端末を送信先に指定してコンテンツのデータ送信指示を送信する。すなわち、選択等されたコンテンツの備えるユニークIDから、コマースサーバが備えるコンテンツ登録情報を参照してコンテンツサーバに記憶されている該当するコンテンツを抽出し、該当するコンテンツ中のコンテンツ・データを読み出し、自動編集時にユーザ端末にデータ送信を行う処理と、該当するコンテンツの中の該当する課金情報を読み出してコマースサーバへ処理結果を送ると共に認証キーが有している課金ポイントの情報を更新し、コマースサーバではコンテンツサーバへ処理結果を送ることにより、処理が実行される。

またユーザの出力等の利用サービスログを、コマースサーバにおいて管理することが望ましい。

コンテンツには、コンテンツ利用の対価に関する課金情報と、コンテンツ利用の制御に関する属性情報とが含まれている。

本実施形態に用いられるコンテンツには、コンテンツの利用を制御するための属性情報が含まれている。

従来、例えばマルチプロトコル対応のネットワークプリンタにおいて、正しく課金管理をすることを可能にするために、受信した通信印刷データに課金情報と印刷対象データとを含み、正しく課金管理をする技術が知られている。

このように、課金情報と印刷対象データを含んだマルチプロトコルの通信印刷

データを用いることにより、課金管理をすることができネットワークプリンタが実現されているが、本発明においてはコンテンツのデータ中に、コンテンツのサイズ、解像度、出力方法等に応じた課金処理を行うための課金情報と、会員・非会員別などの利用者制限や出力方法・回数等の制限などのコンテンツ流通・利用制御などを行うための属性情報が含まれる。

ここで、コンテンツサーバに格納されているコンテンツが所定のデータ・フォーマットにエンコードされているために、コンテンツ本体は利用が不可能なようにプロテクトされている。

印刷などの出力時すなわち課金処理が行われる段階で、コンテンツのデコードによりユーザがコンテンツを出力可能になる。

このように、コンテンツサーバに格納されているコンテンツが所定のデータ・フォーマットにエンコードされているために、コンテンツサーバにおいては、ダウンロード処理を行い、次いで、認証されたユーザが指定し送信したコンテンツの利用要求情報に対し、前記のコンテンツをユーザ端末に送信し、前記のコンテンツが含む属性情報をユーザ端末において検知する処理を行う。

前記の利用要求情報に基づき課金処理が認証されてコンテンツを出力する場合には、利用要求情報に基づきコンテンツのデコードを行い、コンテンツの出力がされる処理とにより出力時課金を行う。

前記の利用要求情報に基づき課金処理が認証されない場合には、コンテンツのデコード及び出力が不可能であることを特徴とする。

第13図は、画像コンテンツを取得したユーザ端末において、コンテンツに含まれる属性情報を検出し、解釈して、コンテンツ利用の制御に関する属性情報に従いデコードを行い出力を行うデータの流れの一例を示すブロック図である。

前記の通り、コマースサーバにおいては、ユーザのダウンロード等の利用サービスログを管理することが望ましく、利用サービスログはユーザ端末から本発明のシステム側に送信されて、とりわけ印刷などの出力処理が正常に行われたことを条件として課金処理が完了するようにするためには必要である。

(自動編集システム実施例2)

次に、請求の範囲7に記載のコンテンツ課金システムについて説明する。

本実施形態においては、コンピュータ・ネットワーク上において、画像などのコンテンツを格納するためのコンテンツサーバと、ユーザがコンテンツを利用し購入するためにアクセスするためのポータルWEBサーバと、ユーザに関する情報やユーザのコンテンツ利用・購入に関する情報を管理するためのコマースサーバとを備え、前記コンテンツには、コンテンツのサンプル・データと、コンテンツ本体が所在するURL情報と、コンテンツ利用の対価に関する課金情報と、コンテンツ利用の制御に関する属性情報と、コンテンツを識別するためのユニークIDとが含まれている。

ユーザがユーザの端末において前記のコンテンツを表示させる処理と、ユーザに対する課金やコンテンツ利用の制御のための認証キーを、ユーザがコンテンツをダウンロードする際にセットする処理と、前記システムにアクセスするユーザの認証を前記の認証キーを用いて行う処理と、認証されたユーザが指定し送信したコンテンツの利用要求情報に対し、前記のコンテンツをユーザ端末に送信し、前記のコンテンツが含む属性情報をユーザ端末において検知する処理と、前記の利用要求情報に基づき課金処理が認証されてコンテンツを出力する場合には、利用要求情報に基づきコンテンツのデコードを行い、コンテンツの出力がされる処理とにより出力時課金を行う。

前記の利用要求情報に基づき課金処理が認証されない場合には、コンテンツのデコード及び出力が不可能であることを特徴とする。

本実施形態においては、コンテンツは、コンテンツのサンプル・データと、コンテンツ本体が所在するURL情報と、コンテンツ利用の対価に関する課金情報と、コンテンツ利用の制御に関する属性情報と、コンテンツを識別するためのユニークIDとを含むコンテンツを用いる。その処理の基本的な流れは、前記した課金システム実施例1と共通する。

本実施形態においては、コマースサーバが管理するコンテンツ登録情報のユニークIDに関連付けられて、コンテンツサーバに上記のコンテンツが記憶されるが、コンテンツが含むコンテンツ・データに代わりコンテンツ本体が所在するURL情報が含まれるので、上記のコンテンツとは別に前記URLで指定される場所にコンテンツ本体のデータが記憶されなければならない。

ここで、印刷などの出力時すなわち課金処理が行われる段階で、コンテンツ（すなわちサンプル・データではないコンテンツ本体）のデコードによりユーザがコンテンツを出力可能になる。

このように、コンテンツサーバに格納されているコンテンツが所定のデータ・フォーマットにエンコードされているために、自動編集処理において、前記のコンテンツのデータをユーザ端末に送信し、前記のコンテンツを含む属性情報をユーザ端末において検知する処理を行う。

前記の利用要求情報に基づき課金処理が認証されてコンテンツを出力する場合には、利用要求情報に基づきコンテンツのデコードを行い、コンテンツの出力がされる処理とにより出力時課金を行う。

前記の利用要求情報に基づき課金処理が認証されない場合には、コンテンツのデコード及び出力が不可能であることを特徴とする。

また、本実施形態の場合には、コンテンツ本体が所在するURL情報が含まれるので、上記のコンテンツとは別に前記URLで指定される場所にコンテンツ本体のデータが記憶されている。

そのためコンテンツには、特に下記のような実施形態を含む。

WEB上（ここでは特にイントラネットなどのクローズドなネットワークを含む）において表示されるためのファイルである、HTMLファイル、XMLファイル、HTMLファイル、などのファイルがコンテンツそのものであり、このファイル中に前記の、コンテンツのサンプル・データと、コンテンツ本体が所在するURL情報と、コンテンツの対価情報に関する課金情報と、コンテンツの利用の制御に関する属性情報と、コンテンツを識別するためのユニークIDとが含まれている。

URLで指定される場所にはコンテンツ本体が存在する。

また、独自に定義を行うファイルのソース中のタグにおいて、コンテンツの対価情報に関する課金情報と、コンテンツの利用の制御に関する属性情報と、コンテンツを識別するためのユニークIDとをファイル中に含む。独自のタグ定義は、特にXMLなどを用いたファイルにおいて、コンテンツ本体を格納するデータベースと連携してコンテンツ管理を行うために有効である。

コンテンツ利用時には、ユーザ端末と本発明の前記のシステムとの間で情報の送受信を行い、ユーザ端末側において、タグで定義された課金情報、属性情報を検知し、課金処理が行われて出力等の利用が可能になった形態での出力・利用を行う。

（自動編集システム実施例3）

次に、請求の範囲8に記載のコンテンツ課金システムについて説明する。

本実施形態においては、コンピュータ・ネットワーク上において、画像などのコンテンツを格納するためのコンテンツサーバと、ユーザがコンテンツを利用し購入するためにアクセスするためのポータルWEBサーバと、ユーザに関する情報やユーザのコンテンツ利用・購入に関する情報を管理するためのコマースサーバとを備え、前記コンテンツには、コンテンツのサンプル・データと、コンテンツ本体のネットワーク上における所在を識別するコンテンツ所在IDと、コンテンツ利用の対価に関する課金情報と、コンテンツ利用の制御に関する属性情報と、コンテンツを識別するためのユニークIDとが含まれている。

ユーザがユーザの端末において前記のコンテンツを表示させる処理と、ユーザに対する課金やコンテンツ利用の制御のための認証キーを、ユーザがコンテンツを自動編集処理をする際にセットする処理と、前記システムにアクセスするユーザの認証を前記の認証キーを用いて行う処理と、認証されたユーザが指定し送信したコンテンツの利用要求情報に対し、前記のコンテンツをユーザ端末に送信し、前記のコンテンツを含む属性情報をユーザ端末において検知する処理と、前記の利用要求情報に基づき課金処理が認証されてコンテンツを出力する場合には、利用要求情報に基づきコンテンツのデコードを行い、コンテンツの出力がされる処理とにより出力時課金を行う。

前記の利用要求情報に基づき課金処理が認証されない場合には、コンテンツのデコード及び出力が不可能であることを特徴とする。

本実施形態においては、コンテンツは、コンテンツのサンプル・データと、コンテンツのネットワーク上における所在を識別するコンテンツ所在IDと、コンテンツの対価情報に関する課金情報と、コンテンツの利用の制御に関する属性情報と、コンテンツを識別するためのユニークIDとを含む。その処理の基本的な